

### Ⅲ 大分大学経済学部「学問探検ゼミ 2020」

#### 一 商店街の歴史と衰退の要因一

1920年～30年代 (大正～昭和)	現代につながる
1950年～70年代	戦争のあと、被害を受けていた商業団体が保護され、現代に見られる「アーケード」や「街路灯」が作られる。
1990年～現代	多くの

## 宮町・佐藤ゼミ「成果発表会」

Zoom ミーティングを用いてオンラインで行いました。

#### 衰退した要因

- ① 大店法の廃止による大規模ショッピングセンターの各地への展開。
- ② 人口減少や高齢化による②市場の縮小による客数の大幅な減少。

#### V. 商店街の成功・回復事例

##### 一 昭和の町（豊後高田市）一

- ・江戸時代島原藩の「お街」として発展
- ・1965年以降 人口減少や車社会の到来により衰退
- ・2012年 活性化のため、今後の町づくりを検討→断念
- ・1997年 「昭和」をテーマにまちづくり骨子に、商業と産業の一体化を進める
- ・2001年 昭和の町としてオープン…各店が一店一品と題した自慢の
- ・米街客からの古情もあつたが、魅力を高め米街客約8倍増加  
(2001年：2.5万人→2003年：20万人)
- ・現在では賑わいを見せている



日時 2021年1月22日（金）16：30～18：00

次第 開会挨拶 大分大学経済学部地域システム学科 宮町 良広 教授

#### 少子化の原因 各班発表

- ▶ 晩婚化の進展→婚期が遅れることによる出産の遅れ
- ▶ 夫婦の出生力低下→夫婦の

#### テーマ一覧

#### 少子化の影響

- ▶ 労働力人口の減少→15歳～64歳までの人口  
2015年：7,892万人 2035年：6,773万人
- ▶ 社会保障負担の増大→負担者の増加  
一人当たりの負担額の増加

1班：商店街から考える『地域差』

～経済学・経営学・地域学の視点から～

2班：なぜ日本の少子化が解決しないのか

～諸外国との比較から見える問題点を経済学・社会学から考える～

3班：なぜ子どもの貧困は地域によって異なるのか

4班：コロナ禍における飲食店の動向

～経営学の視点から～

#### 質疑応答

- ・外食することは百歳したが、家庭以外で
- ・そのような消費者は、ドライブ、デリバリーを利用した中食産業の売上

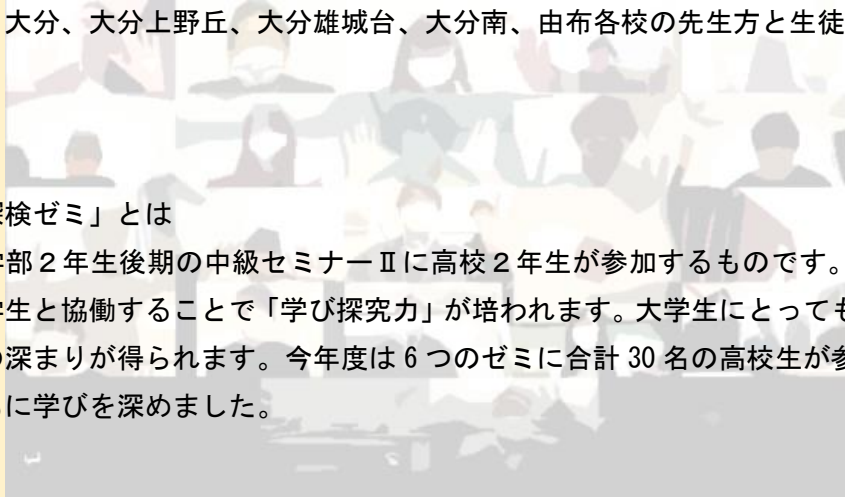
講評 大分県立由布高等学校 若林 剛 校長

閉会挨拶 大分大学経済学部高大接続教育室 佐藤 則行

記念撮影（スクリーンショットによる）

アンケート記入

参加者 大分、大分上野丘、大分雄城台、大分南、由布各校の先生方と生徒さん



#### ※「学問探検ゼミ」とは

経済学部2年生後期中級セミナーⅡに高校2年生が参加するものです。半年間をかけて大学生と協働することで「学び探究力」が培われます。大学生にとっても教えることで学びの深まりが得られます。今年度は6つのゼミに合計30名の高校生が参加し、大学生とともに学びを深めました。